

平成 25 年度鳥取力創造運動支援補助金で採択された地域活動の紹介

住民自らが積極的に取り組む地域づくりを支援する「鳥取力創造運動支援補助金」の採択事業のうち、特色ある事業をご紹介します。

(1) 鳥取発！地域を元気にするわがまちオペラ文化の創設（ムジークテアター・TOTTORI 実行委員会、鳥取市）

ムジークテアター・TOTTORI 実行委員会は、西欧諸国で親しまれているムジークテアター形式（音楽劇）の公演等を通じてオペラを気軽に楽しむ方や活動家の広がりを目指し、昨年7月に設立されました。

本年8月には、「オペラってなんだいな？ちょっぴり贅沢コンサート」を開催し、多くの方々に日本語のオペラを身近に体験する機会を提供されました。

さらに、来年8月には、チャイコフスキー作曲のオペラ「エフゲニー・オネーギン」の全幕公演を予定しています。このオペラは本来1820年のロシアが舞台ですが、演出家により今回は智頭の山村風景をイメージした舞台に置き換えての公演となります（8月3日（日）、とりぎん文化会館）。

これを成功させるため、行政（鳥取市・智頭町）とも連携し、合唱団・楽団による練習のほか、「美味しいオペラ！」と銘打った飲食店との連携（オペラにちなんだ料理の出品）、オペラ・ワークショップ（体験講座、ミニコンサート）を通じた普及に励んでおり、12月14日（土）にJR鳥取駅前のバード・ハットで行われるクリスマスコンサートでも、その魅力の一端を伝えようとしています。



◇見どころ◇

実行委員会では智頭の山村を舞台としたオペラ公演を通じ、参加者・来場者が鳥取の地に思いを寄せ、地域の元気と誇りを創造する大きなきっかけとしたいと考えておられます。

また、合唱団員は、経験の有無を問わず随時募集中とのことですので、お気軽にお問い合わせください。

◇問合せ先◇

ムジークテアター・TOTTORI 実行委員会 実行委員長 藤田 充（ふじた みちる）さん 電話：0857-28-8857

(2) 鳥取中部イノシシ産業化プロジェクト（鳥取中部イノシシ産業化プロジェクト、北栄町）

鳥取を含む中国山地では、イノシシによる農業被害が多く、近隣の農家さんは頭を悩ませています。そんな嫌われ者のイノシシを地域の「宝」としてとらえ、イノシシ肉のグルメ化をねらいとするのが「鳥取中部イノシシ産業化プロジェクト」です。

具体的には、イノシシ捕獲による被害の軽減、イノシシ飼育場の整備・拡大、イノシシ飼育による肉質向上と出荷・販売、地元グルメ化に取り組み、この一連の流れを確立して持続的に循環するシステムにしようと考えておられます。

また、鳥獣被害対策は広域的な課題であることから、地元猟友会やイノシシ飼育、販売などの関係者だけでなく、北栄町や倉吉市など地元行政とも広域的な連携体制をつくって一丸となって取り組むとともに、今後継続的な販路開拓と供給の安定化によりその価値を高めていきます。



◇見どころ◇

イノシシを捕らえた後、多くは解体処理して出荷もしくは廃棄してしまいましたが、ここでは生け捕りにして飼育することで肉質を向上させ、それを地域のブランドとして根付かせようという点に特色があります。

イノシシの飼育場は来年2月頃に整備し、まずは15頭程度の飼育が行われる予定です。

◇問合せ先◇

鳥取中部イノシシ産業化プロジェクト 代表 徳岡 憲一（とくおか けんいち）さん 電話：0858-37-2348(12時～13時)